

(横浜市と同時発表)

横浜市・千葉市間の東京湾縦断ドローン長距離飛行を実施します！ ～準天頂衛星システム「みちびき」の活用による安全・安心なドローン配送の実現を目指して～

千葉市では、配達時間の短縮等による利便性の向上や、物流業界が抱える人手不足等の課題解決を目的として、都市部におけるドローン宅配サービスの実現を目指し、平成28年から各種実証実験を行っています。

このたび、一般財団法人先端ロボティクス財団（理事長 野波健蔵氏）が、令和3年6月に実施した横浜市・千葉市間（約50km）の東京湾縦断飛行の第2弾として、新型機体による長距離飛行に加え、国産の衛星測位システムを活用し、ドローンステーションへ着陸する実証実験を行いますのでお知らせします。

1 東京湾縦断飛行の概要

(1) 今回の実証実験の特徴

- ・新型機体の導入による完全自律飛行及び滑走を必要としない垂直離着陸
- ・大型ドローンステーション（IHI運搬機械株式会社製）への着陸
- ・準天頂衛星システム「みちびき」を活用した高精度位置測位による飛行・着陸

(2) 実施日時

- ・令和4年3月24日(木)
(予備日：3月25日(金))
- ・9：00頃（横浜発）～10：00頃（千葉着）
※気象条件により延期の場合があります。
※飛行状況により到着時刻は前後します。

(3) 飛行区間

ESR横浜幸浦ディストリビューション
センター計画地 → 稲毛海浜公園

(4) 実施主体

一般財団法人先端ロボティクス財団



2 経緯

国・民間企業・本市による「ドローン宅配等分科会」及び「技術検討会」を設置し、ドローン宅配実現に向けた実証実験に関する協議等を行っており、本案件については、座長である野波健蔵氏自らが先導するプロジェクトとして進行してきました。

令和3年6月21日に実施した旧型機体（カイトプレーン）による横浜市・千葉市間の長距離飛行の成功を受け、将来のビジネス化を見据え、今回新たな実証を行うものです。

3 使用機体等の概要

(1) 使用機体 VTOLカイトプレーン

- ・サイズ：約195cm（全長）
- ・航続可能時間：約2時間
- ・航続距離：約100km
- ・飛行速度：50km/h～70km/h
- ・耐風性能：8m/s
- ・最大積載量：5kg
- ・特徴：4つのプロペラによる垂直離着陸
可変翼による効率的な飛行



(2) ドローンステーション

- ・サイズ：縦200cm×横200cm×高さ220cm
- ・重さ：約1.5t
- ・製造者：IHI運搬機械株式会社
- ・特徴：IHI社の所有施設外で使用するの初
「ドローンの着陸制御から着荷」と、「荷物の一時
保管及び自動運転モビリティへの荷物受け渡し」
の2つの工程について無人化を可能にする。



(3) みちびき（準天頂衛星システム）

準天頂軌道の衛星が主体となって構成されている日本の衛星測位システムで、現在4機体制で運用されており、日本の真上にいることで安定した情報を提供可能であるとともに、アメリカのGPS等と組み合わせて使用することにより高精度な位置測位を実現する。
現在スマートフォンや農業用トラクター、乗用車の自動運転技術等に利用されている。

4 取材について

着陸予定地である稲毛海浜公園での取材を希望される方は、別紙に必要事項を記載の上、3月23日（水）までに、国家戦略特区推進課あて、FAXまたはメールにてご連絡ください。

【FAX】043-245-5551 【メール】tokku.POF@city.chiba.lg.jp

※離陸場所及びその周辺エリアは、私有地のため立ち入りや撮影等はできません。離陸時の写真が必要な場合には、横浜市が事前に撮影したデータを提供できます。

【参考】一般財団法人先端ロボティクス財団概要



先端ロボティクス分野における若手人材育成人材育成を図ることを目的として、ドローン関連コンペの開催や研究助成等を行うなど、ドローン産業分野・先端的ロボティクス産業分野の発展に資する活動を行っている。

名 称	一般財団法人先端ロボティクス財団
所 在 地	東京都中央区新富2-1-7 富士中央ビル6階
理 事 長	野波 健蔵（千葉大学名誉教授・日本ドローンコンソーシアム会長）